令和４年度第３回森町地域公共交通会議資料

令和5年2月10日

１．実証運行利用状況集計報告

（令和4年10月～令和5年1月の期間）

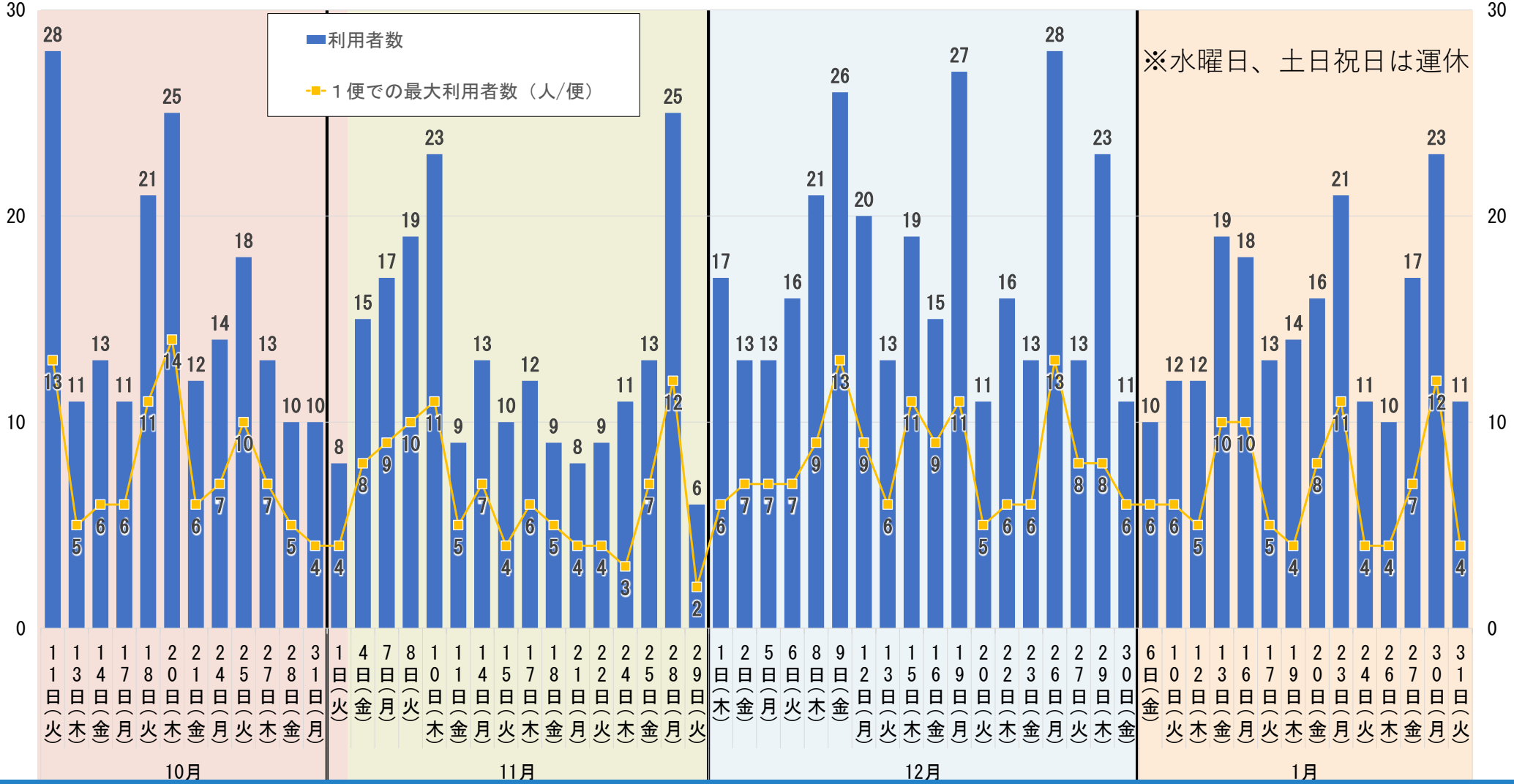
２．今後の運行形態について

利用状況（全体）

☞ 最も利用者数の多い日（10/11、12/26）で**２８人**の利用、１便での最大利用者数は、**１４人/便**が最大（10/20）

☞ 運行日数６０日に対し、延べ利用者数は**９１５人**であり、１日平均利用者数は**１５．３人/日**

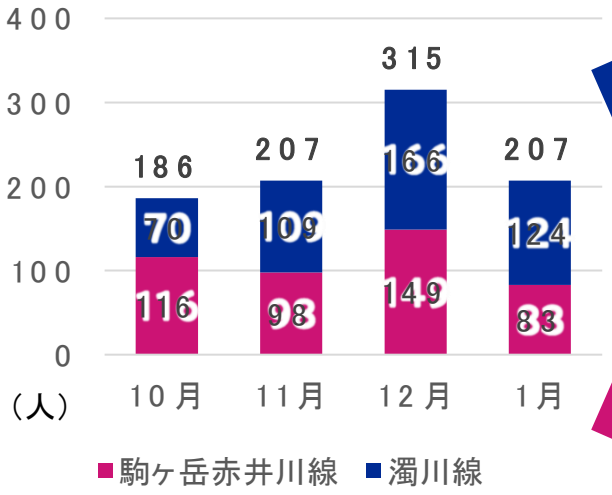
☞ 運行便数２１０便に対し、１便平均利用者数は**４．４人/便**

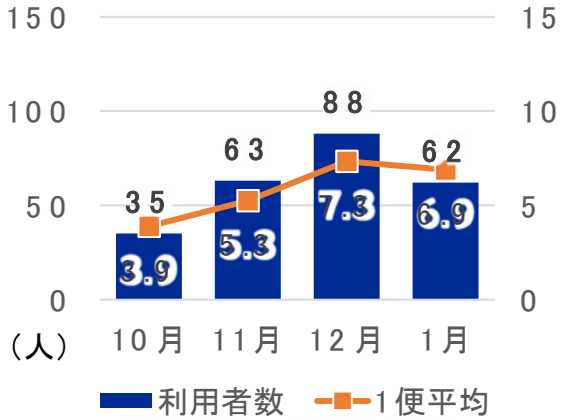


利用状況（曜日別利用者数）

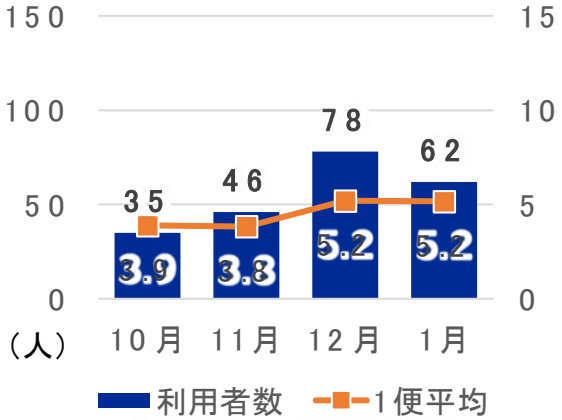
☞ 濁川線は、延べ利用者数**４６９人**であり、月曜日で延べ**２４８人**、金曜日で延べ**２２１人**の利用

☞ 駒ケ岳赤井川線は、延べ利用者数**４４６人**であり、火曜日で延べ**２１９人**、木曜日で延べ**２２７人**の利用

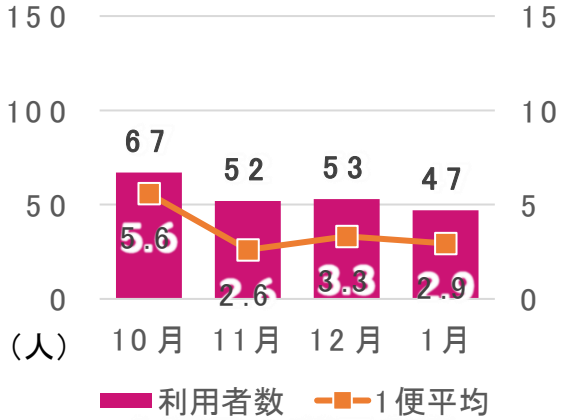




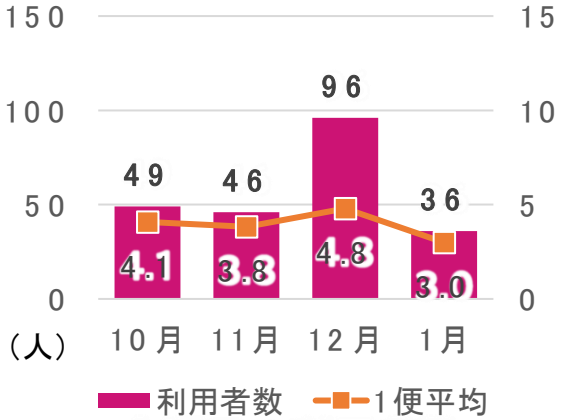
月曜日の利用者数



金曜日の利用者数



火曜日の利用者数



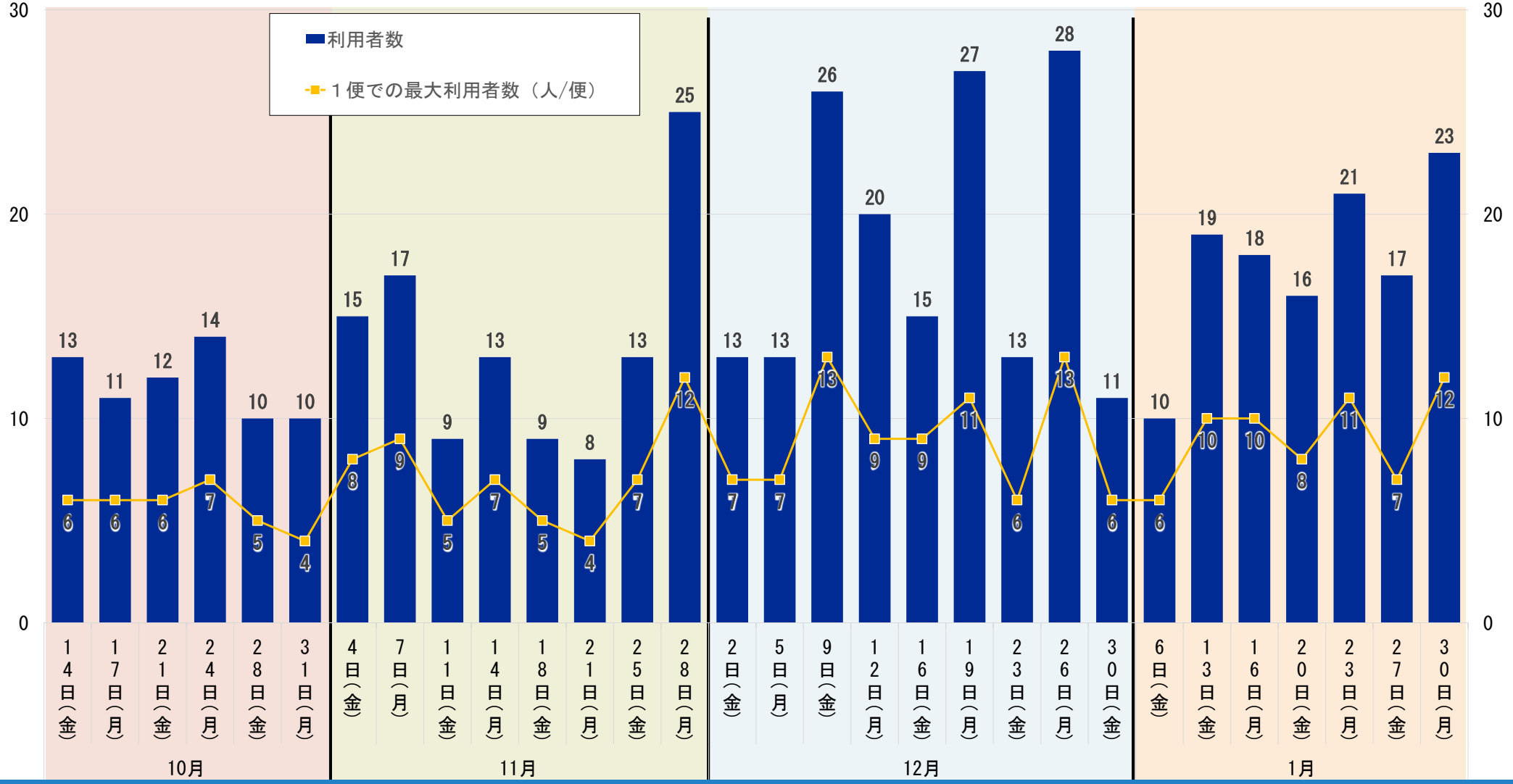
木曜日の利用者数

利用状況（濁川線　月別利用状況）

☞ 最も利用者数の多い日（12/26）で**２８人**の利用、１便での最大利用者数は、**１３人/便**が最大（12/9、12/26）

☞ 運行日数３０日に対し、延べ利用者数は**４６９人**であり、１日平均利用者数は**１５．６人/日**

☞ 運行便数９０便に対し、１便平均利用者数は**５．２人/便**



利用状況（濁川線　便別利用状況）

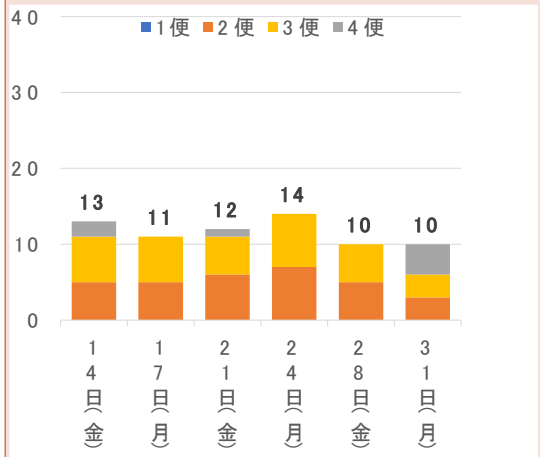
☞ １２月の利用者数が最も多く、１０月から１月までの４か月間の月平均利用者は**１１７．３人/月**

☞ どの月においても、４便の１便あたり利用者数が少なく、国の補助基準（２．０人/便）を下回っている

☞ また、４便で空車が目立つ状況となっている

※１便は函館バスの運行と重複しているため運行なし

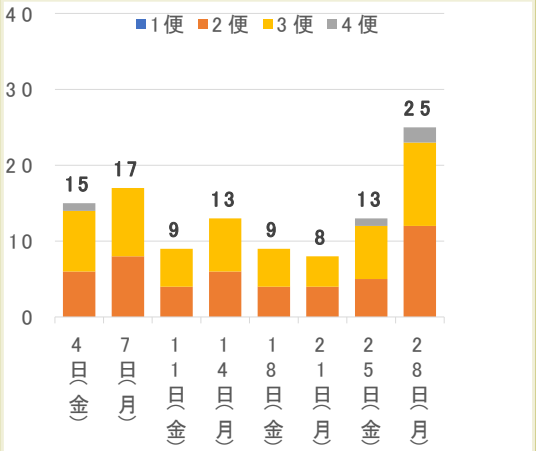
１０月



	14日（金）	17日（月）	21日（金）	24日（月）	28日（金）	31日（月）	1便あたり利用者数
1便	※	※	※	※	※	※	※
2便	5	5	6	7	5	3	5.2
3便	6	6	5	7	5	3	5.3
4便	2	0	1	0	0	4	1.2
日合計	13	11	12	14	10	10	

利用者数： 70人
１便平均：3.9人

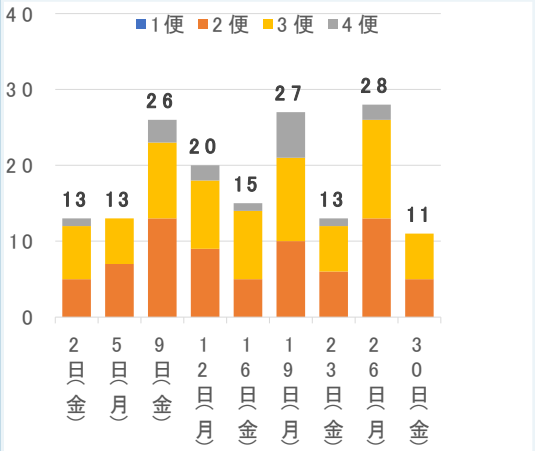
１１月



	4日（金）	7日（月）	11日（金）	14日（月）	18日（金）	21日（月）	25日（金）	28日（月）	1便あたり利用者数
1便	※	※	※	※	※	※	※	※	※
2便	6	8	4	6	4	4	5	12	6.1
3便	8	9	5	7	5	4	7	11	7.0
4便	1	0	0	0	0	0	1	2	0.5
日合計	15	17	9	13	9	8	13	25	

利用者数：109人
（前月対比+ 39人）
１便平均：4.5人
（前月対比+0.6人）

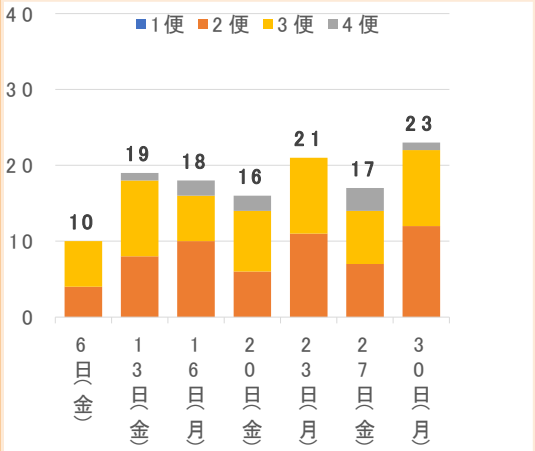
１２月



	2日（金）	5日（月）	9日（金）	12日（月）	16日（金）	19日（月）	23日（金）	26日（月）	30日（金）	1便あたり利用者数
1便	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
2便	5	7	13	9	5	10	6	13	5	8.1
3便	7	6	10	9	9	11	6	13	6	8.6
4便	1	0	3	2	1	6	1	2	0	1.8
日合計	13	13	26	20	15	27	13	28	11	

利用者数：166人
（前月対比+ 57人）
１便平均：6.1人
（前月対比+1.6人）

１月



	6日（金）	13日（金）	16日（月）	20日（金）	23日（月）	27日（金）	30日（月）	1便あたり利用者数
1便	※	※	※	※	※	※	※	※
2便	4	8	10	6	11	7	12	8.3
3便	6	10	6	8	10	7	10	8.1
4便	0	1	2	2	0	3	1	1.3
日合計	10	19	18	16	21	17	23	

利用者数：124人
（前月対比- 42人）
１便平均：5.9人
（前月対比-0.2人）

町職員による町民意見の聞き取り

☞ 利用目的、乗降地点、乗り換えの有無などの詳細把握に向け、バス車内での聞き取りを実施

■濁川線

日　付	調査便	利用者人数	聞き取り人数	備　考
1/27（金）	2便	7人	7人	－
	4便	3人	0人	3人は2便で聞き取り済み
1/30（月）	2便	12人	7人	5人は27日に聞き取り済み
	3便	10人	0人	10人は27日及び30日2便で聞き取り済み

※利用者の方には全員から意見を聞き取り

◎乗降地点

		到着	
		濁　川	市街地
出発	濁　川	0	12
	市街地	0	2

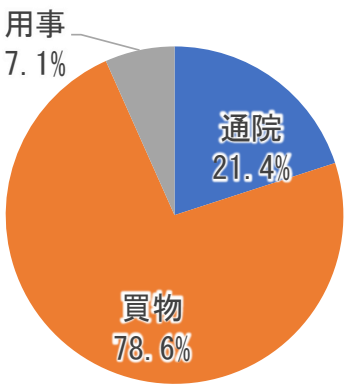
聞き取り時の傾向として・・・

☞ 「三岱入口とライスセンター前の間」からの乗車が多い(延べ４人)

☞ 「ホクレン前(延べ４人)」、「ラルズマート(延べ３人)」での降車が多い

☞ 市街地内の移動で利用した人は延べ２人

◎利用目的－(N=14)



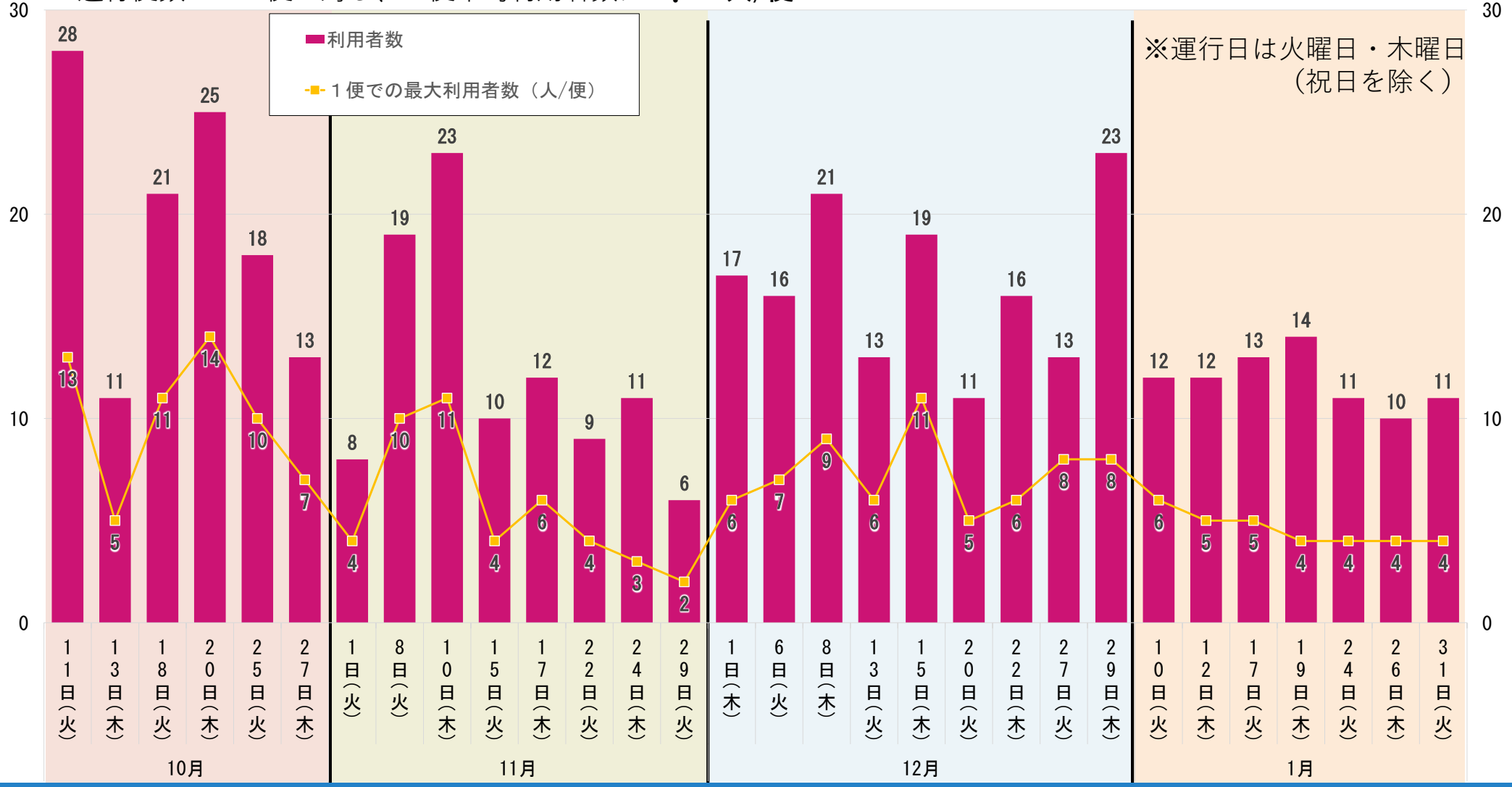
意　見	内　容
運賃	・函館バスより安いと良い ・無料が望ましいが有料でも極力安いと良い ・回数券や往復割引などがあると良い ・０円～５００円の間で設定されると良い
時間帯等	・お昼前後で往復できる便があると良い ・回送便に乗車できると良い ・通院が火曜・金曜
ルート	・帰り便で石倉方面で降車する人がいないなら、濁川直行が良い ・元の函館バス路線の方が自宅に近く、利用しやすかった
その他	・砂原線に乗り継ぎやすいと良い ・巡回バスは便利

利用状況（駒ケ岳赤井川線　月別利用状況）

☞ 最も利用者数の多い日（10/11）で**２８人**の利用、１便での最大利用者数は、**１４人/便**が最大（10/20）

☞ 運行日数３０日に対し、延べ利用者数は**４４６人**であり、１日平均利用者数は**１４．９人/日**

☞ 運行便数１２０便に対し、１便平均利用者数は**３．７人/便**



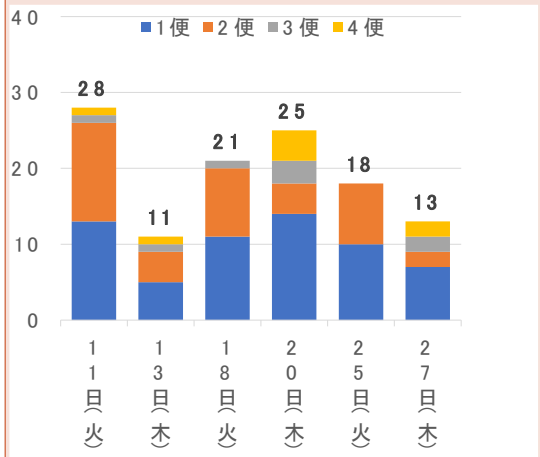
利用状況（駒ケ岳赤井川線　便別利用状況）

☞ １２月の利用者数が最も多く、１０月から１月までの４か月間の月平均利用者は**１１１．５人/月**

☞ どの月においても、４便の１便あたり利用者数が少なく、国の補助基準（2.0人/便）を下回っている

☞ また、４便で空車が目立つ状況のほか、３便でも空車が発生している運行日がある状況

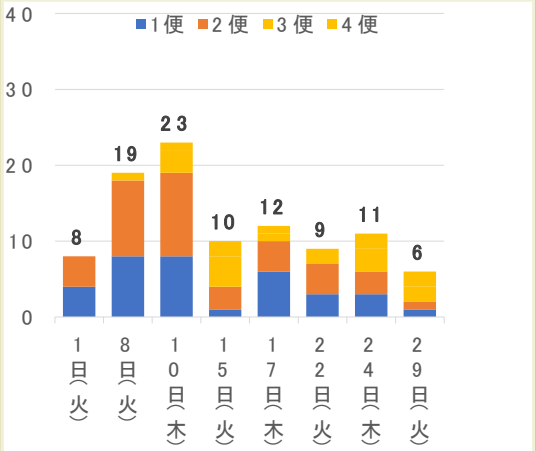
１０月



	11日（火）	13日（木）	18日（火）	20日（木）	25日（火）	27日（木）	1便あたり利用者数
1便	13	5	11	14	10	7	10.0
2便	13	4	9	4	8	2	6.7
3便	1	1	1	3	0	2	1.3
4便	1	1	0	4	0	2	1.3
日合計	28	11	21	25	18	13	

利用者数：116人
１便平均：4.8人

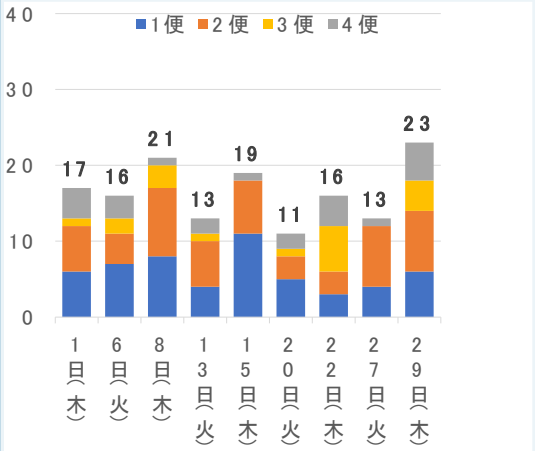
１１月



	1日（火）	8日（火）	10日（木）	15日（火）	17日（木）	22日（火）	24日（木）	29日（火）	1便あたり利用者数
1便	4	8	8	1	6	3	3	1	4.3
2便	4	10	11	3	4	4	3	1	5.0
3便	0	1	3	4	1	2	3	2	2.0
4便	0	0	1	2	1	0	2	2	1.0
日合計	8	19	23	10	12	9	11	6	

利用者数： 98人
（前月対比- 18人）
１便平均：3.1人
（前月対比-1.7人）

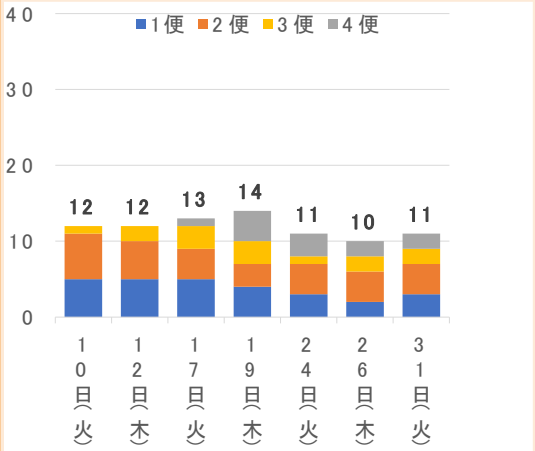
１２月



	1日（木）	6日（火）	8日（木）	13日（火）	15日（木）	20日（火）	22日（木）	27日（火）	29日（木）	1便あたり利用者数
1便	6	7	8	4	11	5	3	4	6	6.0
2便	6	4	9	6	7	3	3	8	8	6.0
3便	1	2	3	1	0	1	6	0	4	2.0
4便	4	3	1	2	1	2	4	1	5	2.6
日合計	17	16	21	13	19	11	16	13	23	

利用者数：149人
（前月対比+ 51人）
１便平均：4.1人
（前月対比+1.0人）

１月



	10日（火）	12日（木）	17日（火）	19日（木）	24日（火）	26日（木）	31日（火）	1便あたり利用者数
1便	5	5	5	4	3	2	3	3.9
2便	6	5	4	3	4	4	4	4.3
3便	1	2	3	3	1	2	2	2.0
4便	0	0	1	4	3	2	2	1.7
日合計	12	12	13	14	11	10	11	

利用者数： 83人
（前月対比- 66人）
１便平均：3.0人
（前月対比-1.1人）

町職員による町民意見の聞き取り

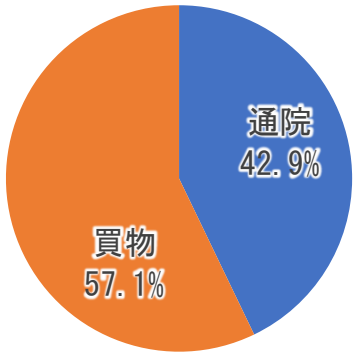
☞ 利用目的、乗降地点、乗り換えの有無などの詳細把握に向け、バス車内での聞き取りを実施

■駒ヶ岳赤井川線

日　付	調査便	利用者人数	聞き取り人数	備　考
1/24（火）	1便	3人	3人	－
	4便	3人	1人	2人は1便で聞き取り済み
1/26（木）	1便	2人	2人	－
	2便	4人	1人	3人は24日及び26日1便で聞き取り済み
	3便	2人	0人	2人は24日及び26日1便・2便で聞き取り済み

※利用者の方には全員から意見を聞き取り

◎利用目的（N=7）



◎乗降地点

		到着		
		からまつ	駒ケ岳	市街地
出発	からまつ	0	0	3
	駒ケ岳	0	0	1
	市街地	0	1	2

聞き取り時の傾向として・・・

☞ 「からまつの森」からの乗車が多い（延べ２人）

☞ 「ホクレン前（延べ２人）」での降車が多い

☞ 市街地内の移動で利用した人は延べ２人

意　見	内　　容
運賃	・函館バスと同じくらいでも良い ・最大でもＪＲやバスの運賃に納まると良い ・回数券や往復割引などがあると良い ・１００円～５００円の間で設定されると良い
時間帯等	・滞在時間が短い ・週３日だと良い
ルート	・国道５号沿いのセブンイレブンに寄れると良い ・東森町でも利用しやすいルートになると良い
その他	・自宅からバス路線まで遠い人がいる

電話及び町民の意見箱、窓口訪問、文章で寄せられた町民意見

■濁川線全般に係る内容

【蛯　谷】　蛯谷にも停車してくれると良い

【濁　川】　濁川４号線・７号線にも高齢者が多く居住しており、運行ルートを検討できないか

【濁　川】　現在の運行曜日とルートでは公共交通バスの恩恵を受けにくい

【濁　川】　外側を回るようなルートであることや月曜日・金曜日の運行だと町立病院にかかりにくい

【濁　川】　国保病院の泌尿器科の先生が火・木曜日に来るため、どちらかを濁川の運行曜日にできないか検討してほしい

【濁　川】　昼からも、濁川地区から市街地へ行ける便があると良い

■駒ヶ岳赤井川線全般に係る内容

【赤井川】　みどりの村に居住する町民に対しても移動支援策が必要

【赤井川】　大沼公園ＩＣ入口の国道５号まで、運行ルートが伸びると良い

■市街地内も含めた運行路線に係る内容

【濁　川】　停車場所に停留所等がないため、交通安全の面で不安が残る

【濁　川】　サツドラ駐車場内での転回等、安全面に課題があるため、駐車場まで入らなくても良いのではないか

【森　川】　森川４区は高齢者が多く、生活関連施設まで坂道も多いため、運行ルートを検討できないか

【港　町】　買い物の帰り時、実証運行バスが出るのが１１：３０で、森駅発の砂原方面行の函館バスに間に合わず、１５時頃まで次の便が無いが、１１：２０発ならば間に合うので、変更を検討できないか

【常　盤】　市街地内の停車場所に、常盤会館も追加されると良い

【鳥　崎】　鳥崎には近くに店がなく、交通の足も少ないので、運行ルートを検討できないか

【上　台】　町のバスが走っているのが便利だが、キャンドゥテーオーストア森店に行けると良い

【赤井川】　役場も停車場所に追加されると良い

【赤井川】　観光客が利用する可能性も踏まえて、発掘調査事務所、榎本武揚上陸地、鯡供養塔等に停車できると良い

電話及び町民の意見箱、窓口訪問、文章で寄せられた町民意見

■運行曜日や運行時間帯に係る内容

【赤井川】　週末も運行されると良い

【赤井川】　ＪＲや函館バスとの接続も考慮されると良い

■運賃に係る内容

【赤井川】　運賃は片道１００～２００円が望ましく、最大でも３００円程度

【赤井川】　一律１００円で「１００円バス」という名前にするのはどうか

■その他

【砂　原】　実証運行バスを利用した人だけでなく、利用を検討している人の意見も拾えると良い

【砂　原】　実証運行バスが運行していない地域など、バス停から遠い町民の対策も重要

【鷲ノ木】　市街地でも利用できることを知ってもらうために、周知の充実が必要

【濁　川】　車両内に意見書を投函できるような仕組みを、用意できると良い

【常　盤】　旧ときわ歯科前からバスを利用しているが、雪かきがされておらず、敷地内で待つことができない

■運転手からの聞き取り

- 赤井川地区の「国道５号沿い」停留所で、折り返しがしにくい
- 道の駅での乗降者は一度もない
- マルミ吉田商店前の場合、道路を挟んで向かいに立ってもらえればスムーズに乗降できる
- 車両内に意見書を投函できるような仕組みを、用意できると良い
- 旧ときわ歯科で乗降する人には、旧水車前（ロッキー）で待っててもらうようにしてもらっている

１．実証運行利用状況集計報告
（令和4年10月～令和5年1月の期間）

２．今後の運行形態について

これからの運行について

☞ **令和５年４月より、運賃を有償とした運行を想定**
※令和５年１０月からの本格運行を見据え、国の補助要件を満たすために有償運行とする必要

☞ 運輸局への申請上、**有償運送とするには２月末までに運行に係る申請書の提出が必要**

☞ 令和５年２月以降の利用状況も踏まえ、ルートや時間帯などの運行内容の見直しを検討し、
国への補助申請書提出を令和５年６月末までに実施する必要
※概ねの本格運行の内容を協議会で決定する必要

◎運賃の金額設定の検討

☞ 町民意見、支払いの簡便さ、市街地までの距離などを踏まえた金額設定の検討が必要

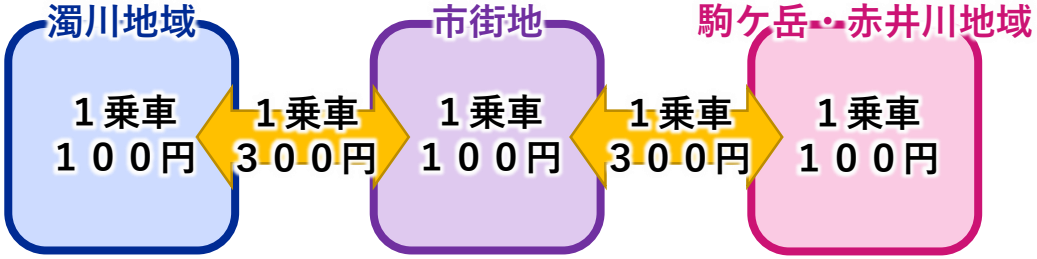
☞ いくつかの地域に分類し、乗車してから下車するまでに通過する地域の数で運賃を決める方式を検討

今回の協議会で協議する運賃設定（案）

【協議する運賃設定（案）】
- １つの地域を移動（地域内移動）では**１乗車１００円**
- ２つの地域を移動（地域間移動）では**１乗車３００円**
- 小学生以下は保護者同伴で無料

【参考】
函館バス運賃

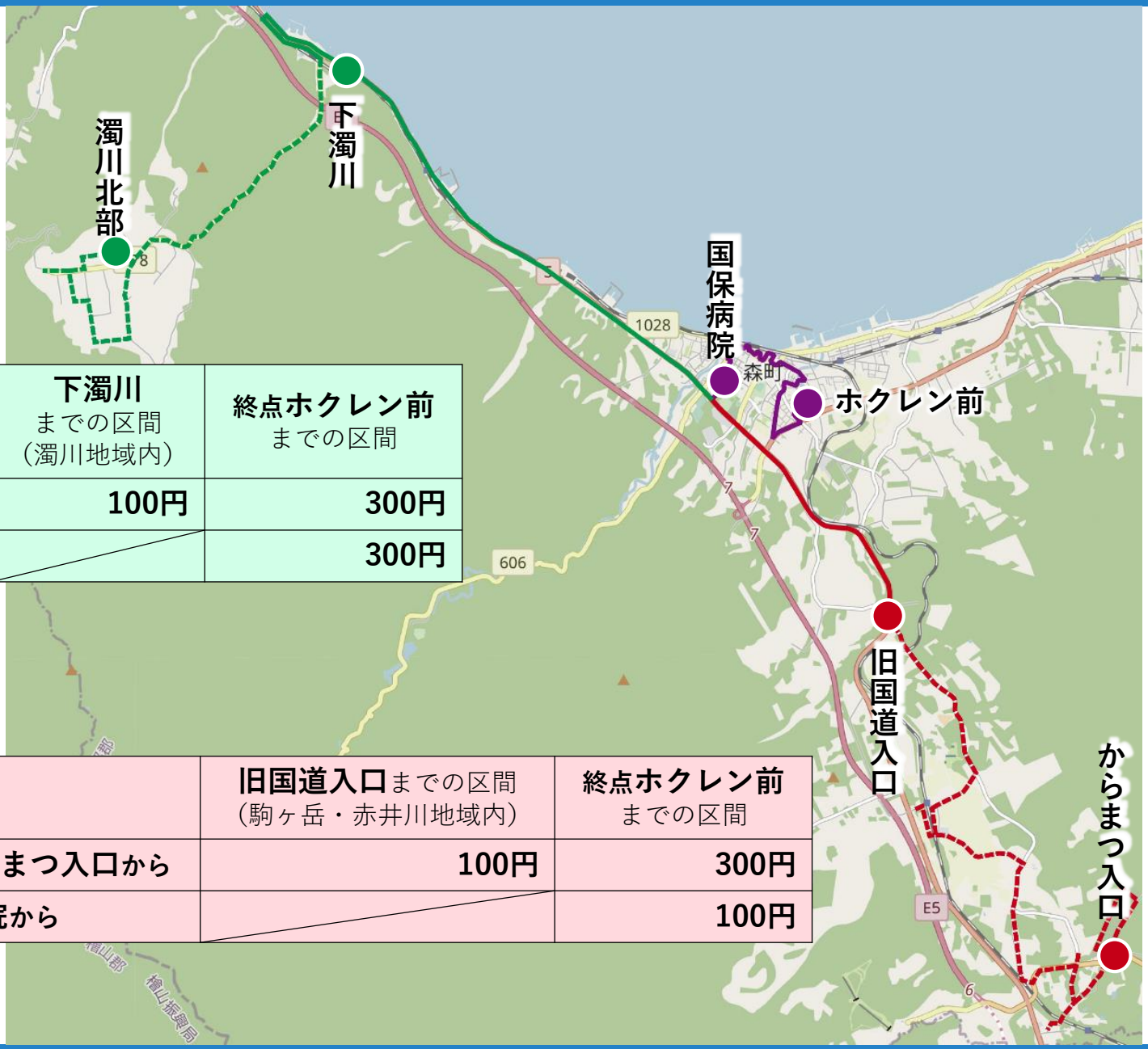
利用区間	運賃
三岱入口～森駅前	720円
赤井川～森駅前	500円
駒ヶ岳駅通り～森駅前	390円
市街地内の移動	150円



【運賃設定（案）の根拠】
- 町民意見
- 近隣自治体の事例

【次回開催時に協議したい事項】
- 回数券や往復割引などのお得な運賃形態の導入
- 高齢者や免許返納者などの特定利用者の運賃無償化

運賃設定（案）の適用イメージ



	下濁川までの区間（濁川地域内）	終点ホクレン前までの区間
始点濁川北部から	100円	300円
下濁川から		300円

	旧国道入口までの区間（駒ヶ岳・赤井川地域内）	終点ホクレン前までの区間
始点からまつ入口から	100円	300円
国保病院から		100円